

1. スタッフ構成

○岡本 憲省(主任部長、脳卒中センター副センター長)

1994年自治医科大学卒

専門分野:脳卒中、神経難病、内科疾患による神経障害、老年症候群

資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本老年医学会老年病専門医・指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医

○京樂 格(部長)

2000年宮崎医科大学卒

専門分野:脳卒中、神経難病、総合診療

資格:日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本病院総合診療医学会認定医、厚生労働省臨床研修指導医

○渡部 真志(部長)

2010年愛媛大学医学部卒

専門分野:脳卒中、神経難病、神経免疫疾患

資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医、日本神経免疫学会神経免疫診療認定医、日本母性内科学会母性内科(内科・神経分野)プロバイダー、厚生労働省臨床研修指導医

○白岡 朗(医長)

2013年帝京大学医学部卒

専門分野:脳卒中、神経難病

資格:日本内科学会認定内科医、日本神経学会神経内科専門医、厚生労働省臨床研修指導医

○大坪 治喜(医長)

2015年愛媛大学医学部卒

専門分野:脳卒中、神経難病

資格:日本内科学会認定内科医、日本神経学会神経内科専門医、日本脳卒中学会脳卒中専門医、日本脳神経血管内治療学会脳血管内治療専門医、厚生労働省臨床研修指導医

2. 実績

■ 受診の統計

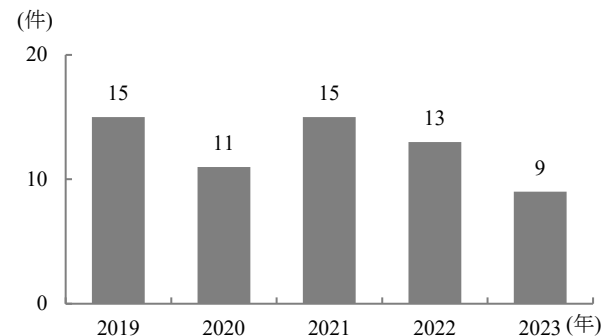
	患者数等
初診外来患者数	379名
再診外来患者数	7,830名
入院ベッド数	22床
年間入院患者数	299名
新規入院患者数	216名
平均在院日数	13.7日

■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10準拠)	2021	2022	2023
脳血管障害(脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、脊髄血管障害、静脈洞血栓症、くも膜下出血、内頸動脈・椎骨動脈狭窄ならびに解離)	61	98	99
多発性硬化症、視神経脊髄炎	10	13	8
パーキンソン病	6	3	7
パーキンソン症候群	4	2	2
多系統萎縮症	1	0	0
慢性炎症性脱髄性多発神経炎、多巣性運動ニューロパチー	50	45	50
ギラン・バレー症候群(ミラー・フィッシャー症候群、Bickerstaff脳幹脳炎も含む)	3	5	7
脳炎(ウイルス性、自己免疫性、傍腫瘍性、辺縁系)、脳髄膜炎(ADEMも含む)	16	21	16
多発ニューロパチー	7	17	5
内科疾患による神経・筋障害	5	7	15
てんかん	19	20	26
重症筋無力症	8	17	14
運動ニューロン疾患(ALS等)	11	9	7
脊椎疾患	2	1	3
脊髄小脳変性症	1	1	1
精神疾患	2	0	4
ミオパチー(筋炎、筋ジストロフィー)	19	14	16
腫瘍性疾患(原発性脳腫瘍、髄膜癌腫症)	1	5	1
不随意運動(ミオクローヌス、ジストニア、振戦等)	1	0	0
認知症(アルツハイマー病、正常圧水頭症)	1	4	5
非感染性炎症性疾患(神経サルコイドーシス、神経ベーチェット病、神経スイート病)	5	2	3
神経梅毒、クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0
その他	4	24	10
合計	238	308	299

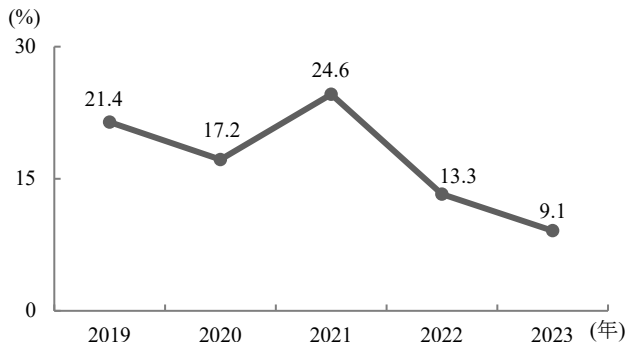
■ 当科で行った超急性期脳梗塞に対するt-PA 静注療法の概要

(1) 症例数の推移



2005年11月～2023年12月の合計では247例(平均年齢:71.2歳、男性144例、女性103例)でした。

(2) 脳梗塞入院患者に対するt-PA療法患者の割合



(3) t-PA 静注療法+血栓回収術

	2019	2020	2021	2022	2023
施行数	4	5	7	1	9

■ 全死亡例およびその死因

疾患名	死因(剖検)
心原性脳塞栓症	心原性脳塞栓症
連鎖球菌性髄膜炎	連鎖球菌性髄膜炎
心原性脳塞栓症	心原性脳塞栓症
心原性脳塞栓症	ANCA関連血管炎
心原性脳塞栓症	心原性脳塞栓症

■ 検査件数

検査名	2021	2022	2023
神経伝達検査	270	144	131
誘発電位	13	8	11
脳波検査	211	131	138
針筋電図	29	12	11
頭部CT	483	143	804
頭部MRI/MRA	717	234	922
SPECT/PET	151	208	213
頸動脈エコー	25	52	322
筋生検	10	12	6
脳・神経生検	1	2	0

3. 2024 年度目標

- 超急性期脳梗塞治療成績の向上のため、関係部署と連携して院内所要時間(door to needle/door to puncture)の短縮を進めます。
- 神経難病患者の医療連携の構築、脳卒中患者の受け入れにおける前方、後方連携とのさらなる強化に努めます。
- 脳神経内科専門医を希望する若手医師の育成、指導・教育の充実を図ります。
- Storke team(AIS チーム)が設立されました。院内で発症した急性脳卒中患者の治療成績向上のため、啓蒙活動を進めていきます。
- 神経学会、脳卒中学会などの関連学会への参加、論文作成に努めます。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 久保仁、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省。食思不振、歩行障害で発症し、汎下垂機能低下症と中枢性尿崩症を呈した IgG4 関連下垂体炎の 1 例。第 14 回四国神経懇話会。松山 (2023.2.11)
- 渡部真志、久保仁、白岡朗、京樂格、岡本憲省。新型コロナウイルスワクチン接種後に脳梗塞を来した抗カルジオリピン抗体陽性非細菌性血栓性心内膜炎の 1 例。第 48 回日本脳卒中学会学術集会。横浜 (2023.3.16-18)
- 上田彩加、玉井宏一、烏谷政和、倉田知久、渡部真志、白岡朗、京樂格、岡本憲省、藤原聡。メチルエルゴメトリンマレイン酸塩が誘因と考えられる脳血管攣縮により脳梗塞を発症した 1 例。第 48 回日本脳卒中学会学術集会。横浜 (2023.3.16-18)
- 岡本憲省。市民公開講座 シン・脳卒中の予防と治療へエキスパートから学ぶ最新情報～潜在的脳梗塞について。第 122 回日本循環器学会中国・四国合同地方会。松山 (2023.6.3-4)
- 久保仁、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省。食思不振、歩行障害で発症し、汎下垂機能低下症と中枢性尿崩症を呈した IgG4 関連下垂体炎の 1 例。第 113 回日本神経学会中国・四国地方会。山口 (2023.6.24-25)
- 渡部真志、杉田保雄、大上志朗、木藤克己、白岡朗、京樂格、岡本憲省。中枢神経原発リンパ腫様肉芽腫症の特徴:症例報告。第 64 回日本神経病理学会総合学術研究会 第 66 回日本神経化学学会大会 合同大会。神戸 (2023.7.6-8)
- 堀内琢、京樂格、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、岡本憲省、金本麻友美。急速進行性の認知症状で発症し橋本脳症との鑑別が問題となった ACTH 単独欠損症の 1 例。日本内科学会第 128 回四国地方会。高知 (2023.7.23)
- 大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省、村山健太郎、草川あかり、柴垣慶一、大塚祥浩、古川浩次、瀬野利太、藤原聡、尾上信二、市川晴久、岩田真治、大上史朗。血栓回収療法前の CT 灌流画像は本当に必要か。第 32 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会中国四国地方会。松山 (2023.9.2)
- 久保仁、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省。椎骨脳底動脈閉塞による小脳・脳幹梗塞にて急性呼吸障害を繰り返した 1 例。第 25 回中国四国脳卒中研究会。松山 (2023.9.2)
- Watanabe M, Sugita Y, Ohashi K, Eishi Y, Maeda T, Shibagaki K, Ohue S, Miki H, Ueda R, Shiraoka A, Kyoraku I, Okamoto K. Sarcoidosis lymphoma syndrome presenting as primary central nervous system lymphoma developed during long-term immunosuppressive treatment: a case report. 20th International Congress of Neuropathology(ICN2023). Berlin (2023.9.13-16)
- 大坪治喜。神奈川再開通療法登録研究(K-NET)事務局からの報告 血栓回収療法前の初期画像モダリティによる転帰の違いについての検討。第 39 回日本脳神経血管内治療学会学術集会。京都 (2023.11.23-25)
- 牛島一騎、京樂格、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、岡本憲省。右脳梁膨大部梗塞にて左半側の相貌と文字の変形視を呈した 1 例。日本内科学会第 129 回四国地方会。高松 (2023.12.3)
- 永井翼、大坪治喜、白岡朗、渡部真志、京樂格、岡本憲省。MRI にて両側前頭側頭葉皮質の腫大を認め、Subacute Encephalopathy with Seizure in Alcoholics(SES)と考えられた 71 歳女性例。第 114 回日本神経学会中国・四国地方会。松山 (2023.12.23)